

令和 8 年度 通信教育実施計画

教科	科目	単位数	履修上の留意点	
理科	生物	4	生物基礎を履修していること。 2026年度以降の入学生は選択できない。	
指導 目標	(1)生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。			
教科書		副教材等		添削指導
東京書籍「生物」		なし		12 回
メディア視聴減免実施の有無		☐	実施している	☒ 実施していない
レポート（学習報告書）				
回	学習内容			提出期限
1	生物の共通性と生命の誕生、生物の出現と大気組成の変化、真核生物の誕生、進化と自然選択、生物の系統と進化			佐・月 5/13 唐津 5/7
2	生物の系統分類、霊長類の特徴、類人猿とヒトの違い、人類の出現と変遷			佐・月 5/13 唐津 5/7
3	細胞と生体膜、細胞の構造、タンパク質、酵素、輸送にかかわるタンパク質			佐・月 6/3 唐津 5/27
4	生体内の化学反応、呼吸の過程、発酵と解糖、光合成			佐・月 6/3 唐津 5/27
5	遺伝情報とDNA、DNAの複製、遺伝情報の流れ、タンパク質合成のしくみ			佐・月 7/8 唐津 6/17
6	タンパク質合成と突然変異、DNAクローニング、PCR法、塩基配列を解読する方法			佐・月 7/8 唐津 6/17
7	原核生物の遺伝子発現の調節、真核生物の遺伝子発現の調節、動物の配偶子形成、カエルの発生			佐・月 7/22 唐津 7/15
8	ニューロンの構造、ニューロンの興奮、人の目の構造			佐・月 10/28 唐津 10/21
9	ヒトの神経系、筋肉、動物の行動			佐・月 10/28 唐津 10/21
10	被子植物の生殖細胞の形成、種子の休眠と発芽、茎の伸長成長と肥大成長、植物の屈性、植物の光周性と花芽形成			佐・月 12/2 唐津 11/25
11	個体群の大きさと個体群密度、個体群の成長と密度効果、同種個体間の相互作用、個体群間の相互作用、生物群集の成り立ちと多種の共存			佐・月 12/23 唐津 12/16
12	炭素と窒素の循環、生態系の物質収支と生態ピラミッド、生態系と生物多様性、人間と自然との共存			佐・月 1/27 唐津 1/6

スクーリング（面接指導）		
月	学習内容	実施日
4	生物の共通性と生命の誕生、生物の出現と大気組成の変化、真核生物の誕生、進化と自然選択、生物の系統と進化、生物の系統分類、霊長類の特徴、類人猿とヒトの違い、人類の出現と変遷	佐賀 4/26 月曜 4/27 唐津 4/19
5	細胞と生体膜、細胞の構造、タンパク質、酵素、輸送にかかわるタンパク質、生体内の化学反応、呼吸の過程、発酵と解糖、光合成	佐賀 5/17 月曜 5/18 唐津 5/10
6	遺伝情報とDNA、DNAの複製、遺伝情報の流れ、タンパク質合成のしくみ タンパク質合成と突然変異、DNAクローニング、PCR法、塩基配列を解読する方法	佐賀 6/21 月曜 6/22 唐津 5/31
7	原核生物の遺伝子発現の調節、真核生物の遺伝子発現の調節、動物の配偶子形成、カエルの発生	佐賀 7/5 月曜 7/6 唐津 6/28
集中 S	細胞の顕微鏡観察や光合成色素の分離の実験を行い、観察・実験の基本的な技能を身に付ける。	7/12 7/13
勉強会	レポート 第1回～第7回の復習を行う。	7/22
10	ニューロンの構造、ニューロンの興奮、人の目の構造、ヒトの神経系、筋肉、動物の行動	佐賀 10/11 月曜 10/12 唐津 10/4
11	被子植物の生殖細胞の形成、種子の休眠と発芽、茎の伸長成長と肥大成長、植物の屈性、植物の光周性と花芽形成	佐賀 11/15 月曜 11/16 唐津 11/8
12	個体群の大きさと個体群密度、個体群の成長と密度効果、同種個体間の相互作用、個体群間の相互作用、生物群集の成り立ちと多種の共存	佐賀 12/6 月曜 12/7 唐津 11/29
1	炭素と窒素の循環、生態系の物質収支と生態ピラミッド、生態系と生物多様性、人間と自然との共存	佐賀 1/10 月曜 1/11 唐津 12/20
勉強会	レポート 第8回～第12回の復習を行う。	1/20 1/21
試験		
前・後期	試験範囲	実施日
前期	レポート 第1回～第7回	佐賀 8/30 月曜 8/31 唐津 8/23
後期	レポート 第8回～第12回	佐賀 1/31 月曜 2/1 唐津 1/24
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準		
○レポートの全12回をすべて合格していること。 ○面接時数16時間を満たしていること。 ○総合評価はレポート、スクーリング、テストを総合的に評価し、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の観点ごとに3段階（A,B,C）で行う。 ○総合評価が評定2以上であること。		
その他		